

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2021年4月26日

事業所名 bonキッズ枚方

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			施設構造上制約があるため難しいですが、階段の手すりの追加など、可能な限り対応していきます
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			職員全体で時間を確保し取り組めるようにしていきます
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			いただいた意見を、職員で確認し、改善に向けて取り組んでいきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		法人のホームページ上で公開しています	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在外部評価を行っていないため、今後法人全体で検討していきます
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			合同会社全体・事業所内研修を計画し、資質の向上につなげていきます
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			立案に関して、複数名で検討するよう努めます
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			利用者同士の相性も見ながら、保護者の意向も踏まえ集団活動の機会も作っていきます(但し、コロナ感染状況を配慮)
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			職員1名での療育であっても他の職員に内容を報告し、アドバイスを受け、次の療育に繋がれるように努めます
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				

関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者による送迎の為、学校⇒保護者⇒事業所の流れで情報共有をしています	保育所等訪問支援を利用の方は連絡体制がありますが、それ以外の方の学校等との連携については必要に応じて検討していきます
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現在医療的ケアが必要な子どもの受け入れはありません	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		必要に応じて連携に努めています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			要望がある場合は支援内容や担当者会議等で引継ぎを行っています
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		圏域の支援センター主催の事業所間の意見交換や交流会に参加し、情報やアイデアをいただいています	圏域の支援センターや事業所との連携を図ります
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		利用者から交流の要望はないため実施していませんが、必要に応じて検討していきます
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		機会があれば参加していきます
保護者への説明	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		保護者からの相談の都度助言を行っていますが、要望があればトレーニング的な支援も今後検討していきます
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		管理者が利用開始時、変更時など個別に説明を行っています	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			

責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		ホームページ(合同会社の)・事業所のFasebookにて、情報を発信していることをお知らせしていきます
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域住民の方を招待するような活動は実施しておりませんが、講演会の共催等で事業周知に努めています
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			全員研修を受ける機会を確保します
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			これまで身体拘束の事例はなく、保護者の同意なく身体拘束を行うことはないと考えていますが、生命の危険があるなどの緊急事態を想定し、法人全体でのマニュアル等の策定と職員周知をしていきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			医師の診断書のない利用者には食物アレルギーを保護者に確認した上で療育を行っています
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			引き続き、全体でヒヤリハット事例を共有し、対策を検討していきます